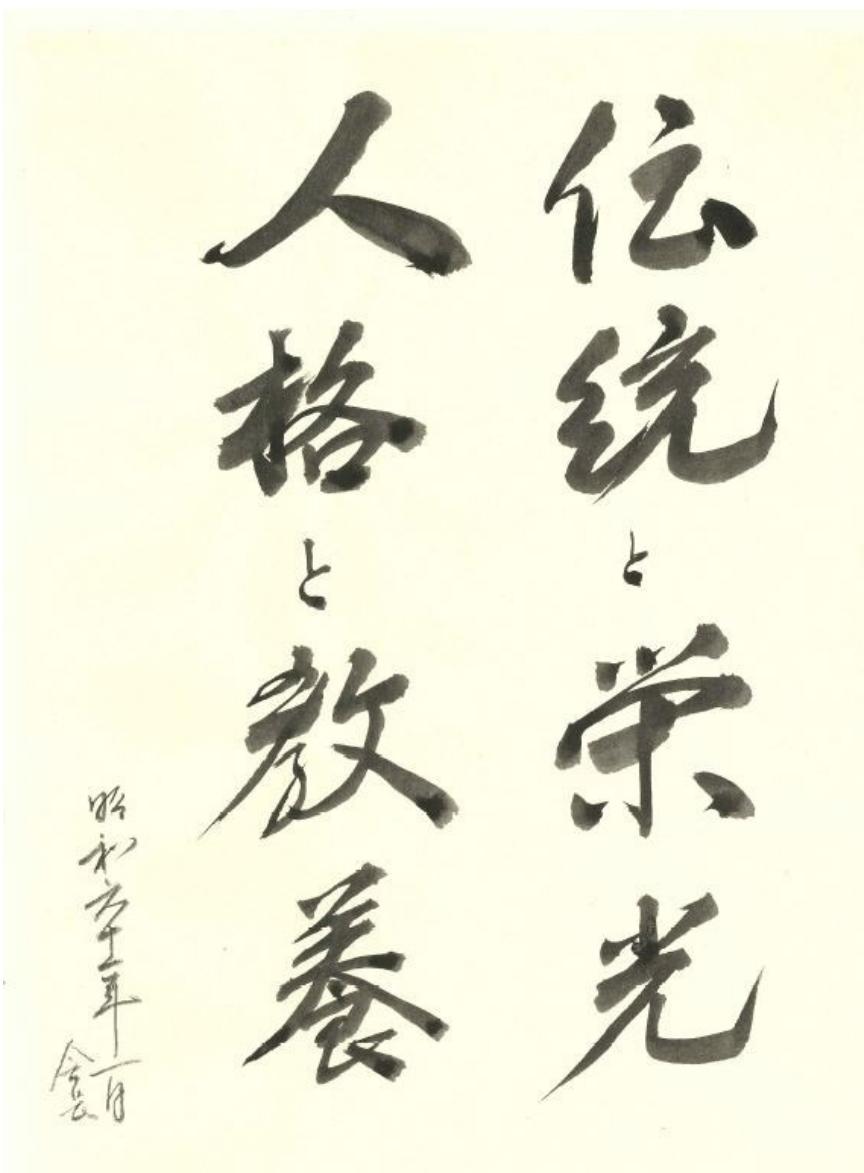




NETWORK

VOL. 94 2025年1月1日 発行



「筆者:創業者 玉田 善仁」

創業75年を迎えるにあたり



あけましておめでとうございます。

昨年1月1日の能登半島地震から丸1年が経過しましたが倒壊家屋や道路インフラなどいたるところに未だ震災の痕跡が残っており、本格的な復興にはまだまだ時間がかかりそうです。

昨年、ラバジャバシステム社と共同して災害発生時にガソリンスタンドの被害状況を一元管理できるシステムを開発しました。既に導入していただいているENEOS様に続いて今年からコスモ石油様でも導入いただける見込みとなっています。日本国内のガソリンスタンド数は30年前の6万件から減少し続けているとはいえ、いまだ2万8千件あります。

当社ではこれまで地下タンクの在庫漏洩管理を行うためのシステム、TAMOSを開発し普及してまいりました。今回のシステムはTAMOSをさらに発展させ災害時にガソリンスタンドの被害状況をリアルタイムに把握することで、災害時にガソリンスタンドが早期復旧できるようサポートしています。

昨年の能登半島地震でも改めて感じましたが、緊急時に必要となる生活必需品は水、食料に次いで燃料の優先順位が高く、石油流通インフラの維持が被災後の生活維持や救援作業においてとても重要であり、被災者の命に直結する可能性があるといって過言ではありません。

この取り組みは新規事業開発の一例ですが、システム開発が得意なラバジャバシステム社とのコラボレーションにより既存事業に新たな付加価値を創造する取り組みを、タマダホールディングスの各社を巻き込んで今後もっと広げていきたいと考えております。

今年でタマダは創業75年を迎えます。「伝統と栄光、人格と教養」は創業者玉田善仁氏が書いたものでいつも私の席の後ろに飾ってあるのですが、75年の節目にあたり今一度、創業の精神に立ち返り気を引き締めなおして取り組んでまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(代表取締役社長 玉田 善久)



玉田会長の

私的会社史

第5回



190名程居た社員も次から次へと辞表が出て来てみると120人程迄下がり、経営は急激にスリムになりました。その為当時は、富山営業所では坂室さん、谷川さんが営業所2階の応接室と会議室で寝泊りをし、福井営業所でも営業所2階で寝泊りをシアパート代節約など、経費を切り詰めるギリギリの経営に協力をしてくれた社員も多くいました。

平成10年度には赤字がどうにか百万円程迄縮小し、平成7年より開始した防火水槽事業も少しづつ軌道に乗り平成11年度からはしっかりと黒字企業へと脱皮して参りました。

平成8, 9, 10年度と3期連続での経営危機を鑑みると、初代社長 玉田善仁、二代目社長 玉田信男が残した、健全経営で借金を作らず志向してきた結果、会社は守られ、感謝と経営基盤の堅実性が大切だと感じました。また、平成6年より開発を進めていました防火水槽事業が2, 3年後の平成9, 10年によく軌道に乗り始めた時期となり、石油業界だけではなく、他の業界への進出の必要性を痛感しました。それは業界が不景気に沈んだ時、SF二重殻タンクで業界に新規参入して来たJFW(日本製鋼所)住友大系鋼管、日立子会社など、大企業が軒並みタンク事業から撤退し、地元SS建設競合企業が休業・廃止・倒産などで減少した為です。苦しいのは自社ばかりではなく、全ての企業も同じく苦しんでいたのです。例えとして「海戦では敵の砲弾が命中して多くの兵隊が亡くなっていくのを見た時に見て、味方の損害ばかりが目に付き、どうしても意気消沈してしまうが、敵艦では一層の被害が出ている事は解らないだけである」

好景気ばかりでは無く不景気が来た時に自社はどうして生き残れるかを普段から真剣に考えその力を身に着けていかなければならないと言うことを経験しました。

(代表取締役会長 玉田 善明)



避難訓練・消火訓練

本社では秋季全国火災予防運動(令和6年11月9日～15日)に合わせ11月8日(金)に工場内での火災を想定し避難訓練及び消火器による消火訓練を実施しました。

また消火器の交換や検知器等の点検も併せて実施しております。

令和6年1月1日の能登半島地震において災害における訓練・準備が大変重要だということを身に染みて実感した方も多いのではと思います。

各事業場又ご家庭においても火災だけでなく地震や水害等の災害時の避難経路・避難場所・消火器等設備の場所・使用方法・連絡網は最低でも年1回事業場内又はご家庭内で共有するよう心掛けください。



(本社防火管理責任者 橋本 一秋)

安全協力会視察旅行

タマダ(株)安全協力会の本年度の視察研修旅行は新潟県へ行ってまいりました。

今回視察した企業は新潟県三条市にある諏訪田製作所でした。主力となる商品は職人による手作業で製造される爪切りです。



実際の建物は丘を利用し、地域が見渡せる高台に工場を作られていて従業員食堂を地域の方にも利用していただけるカフェにしたり、従業員もお子さんを預けられる保育所を併設したりと働く方と地域の方を想った職場でした。

作業されている職人さんは女性の方が多く、きめ細やかな作業に魅了されてしまい、私もその場で1万円近い爪切りを購入してしまいました。

その後は新潟せんべい王国を見学し、お土産に「ばかうけ」をチョイス。お昼はカニ一匹付きのリーズナブルな定食を食べたりと新潟の魅力を感じられる旅となりました。



(タマダHDG総務・人事部人事課 安達 和彦)

安全大会

11月22日(金)に、タマダ株式会社及び安全協力会合同の安全衛生大会を実施しました。

労災・車両事故・安全パトロール結果・安全業者表彰等を行いました。

普段の生活の中で安全に関して意識する事は少なく、このような機会に定期的に意識・確認することが重要です。

重大事故につながる前に、事故が起きない環境構築、意識付けが重要となり、安全衛生大会が振り返りの機会の一助になればと考えています。

さて、今回の安全業者表彰は、(有)赤松電気となりました。

表彰の経緯としては、タマダ㈱全体での対応を意識し総合的に協力いただいている点、提案等についてもタマダ㈱目線でお客様の事を考えてくれている点、タマダ㈱に対しての安全意識の向上についても協力いただいている点を評価し表彰となりました。

また、講演では、能登半島地震におけるモバイル建築について、一般社団法人日本モバイル建築協会 代表理事 長坂 俊成 様にご講演いただきました。仮設住宅とモバイル建築との違いや、震災からの復興や今後に関する話、タマダ㈱・東海容器化工㈱・姥浦建設㈱が一丸となった「のと絆プロジェクト」に関してもモバイル建築協会に深くかかわっていただいており、改めて参考になりました。

最後に、事故は、さまざまな要因が重なって発生します。今回の事例やパトロール結果を自分事に置き換えて想像し、想定できる事故の要因を少しでも減らす一助になればと思います。

ご安全に。

(タマダHDG総務・人事部 山田 哲史)



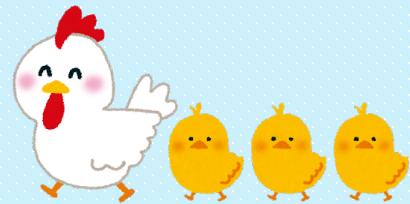
2025年度新入社員内定式

2024年10月1日に2025年入社予定の内定者を集め、内定式を金沢港クルーズターミナルにて開催しました。玉田社長をはじめ早本支店長(中日本支店)や山田部長(総務部)、佐藤課長、辻井さん(プラント事業部)、杉山さん(技術部)にもご参加いただき、内定者にとって、たいへん有意義な時間となりました。(ご参加いただいた皆様ありがとうございました)

内定式には、大学生組9名が参加しました。内定式前に2回(6月の顔合わせ・8月の先輩社員交流会)の内定者交流会を行いましたので、内定者同士あまり緊張することなく、スムーズに会を進めることが出来ました。内定承諾をしてからおよそ半年後に、正式に内定証書を貰う皆さんの顔は、ほっとした表情で、私も心が落ち着きました。内定者からのスライドを交えての自己紹介や社長の講話、そしてお昼ご飯を食べながらの社員との交流と短い時間でしたが、充実したものとなりました。

次回は新年会です。新年会には、高校生組も参加します。さらに活気あふれる2025年組をぜひ温かい目で見守っていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

(タマダHDG総務・人事部人事課 物部 真子)



玉和会開催



昨年発足したタマダOBOG会『玉和会』を、今年も10月22日に金沢市内のホテルで開催いたしました。



まず、のと絆プロジェクトの映像をご覧いただき、社員一丸となって取り組んだ挑戦をご紹介しました。

また、玉田社長より会社の現状報告を、山田部長から本社のフリーアドレスやジムについてご説明させていただきました。

私はOBOGの皆様と仕事を共にした期間は短いですし、初めてお会いする方もいらっしゃったのですが、気さくにお話をしてください、楽しい時間を過ごすことができました。

今こうして私たちが働いているタマダ株式会社は、諸先輩方が会社の発展のためにご尽力されたお陰であることを忘れずに、日々業務に励みたいと思います。



そして、この『玉和会』を通じて、会社とOBOGの皆様とのご縁を大切に、今後も定期的に開催していきたいです。

(タマダHDG総務・人事部総務課 由川 未奈)



九州工場事務所棟 フリーアドレス化！



昨年7月に事務所棟の改装工事に合わせ、フリーアドレス化を実施いたしました。

狭い事務所で書庫と5人分の机・その他の機材を並べると、書類の出し入れは当然ですが、室内を移動することも大変でした。

そこで構造上の制約はありましたが、動線の確保と室内の明るさを最優先に、思い切って倉庫や更衣室との間仕切りも同時に撤去し、広い空間を作る事にしました。

また、工場の事務所は製造に関する書類作成や図面確認などの仕事も非常に多いので、自由に使える広い机を設置し、遠慮せずに思いっきり書類を広げたり、集中して作業したい時やWEB会議に使うことが出来るミーティングスペースを設けました。

個々で受け持っている業務内容も異なるので、収納スペースの不足で不便さを感じることもまだ多いですが、皆で協力しあって仕事をしながら、大切に使っていきたいと思います。

(九州工場 福富 隆史)



金沢マラソン2024

10月27日(日)開催



金沢マラソンに 初めて参加してみた！

こんにちは！

プラント事業部金沢事業所二課、坂本快です。

昨年10月に開催された第10回金沢マラソンに初めて参加したので、参加してみての感想を書きたいと思います！

結論からいうと....すごく楽しかった！！また走りたい！！という気持ちが大きいです。ただ42.195kmを走るだけだと僕は楽しくないと思うのですが、周りからの声援やともに走る戦友がいるだけで、別世界に来たのかなと思うくらい楽しいです。声援をくれた方に「ありがとう！」と返事をしたり、走っている方とお話をしたり、ゴールの瞬間よりも走っているときの方が印象に残っています。

完走はしましたが歩いている時間が長かったので、今年は最後まで走り切ること、昨年よりも楽しむことを目標に練習をします。

以上です！



ランナー18人、ボランティア12人と
たくさんの方に参加していただきました。
皆さん、本当に疲れ様でした！





NEW FACES!

新入社員紹介

- ①生年月日
- ②出身地
- ③出身校
- ④趣味



ラバジャバシステム

春出 佳宏 はるで よしひろ



- ①1975年11月4日
- ②輪島市生まれ羽咋市育ち
- ③山梨学院大学
経営情報学部経営情報学科
- ④バドミントン、ビリヤード

初めまして。システム面から会社に貢献できるようにがんばります。
よろしくお願ひいたします。

タマダHDG総務・人事部人事課

高橋 篤子 たかはし あつこ



- ①1979年6月26日
- ②石川県かほく市
- ③北陸学院短期大学
- ④ゴルフ、お酒、野球場での野球観戦

よろしくお願いします！

タマダHDG経営企画部

室田 里美 むろだ さとみ



- ①1969年12月3日
- ②金沢市
- ③金沢学院短期大学
- ④ドライブ

元グループ会社の株式会社L.A.DEPОより転籍させていただき、11月1日より入社いたしました。今後ともよろしくお願ひいたします。

JUST MARRIED

私たち結婚しました！



- ①結婚日は？
- ②出会ったきっかけは？

- ③新婚生活は楽しいですか？
- ④休日の過ごし方は？

プラント事業部東京事業所二課 **細川 広大・沙耶(旧姓:井野)**



- ①2024年7月15日
- ②SNS
- ③結婚式を挙げたり引っ越したり色々と大変でしたが、暇な時は一緒に出掛けたりするので楽しいです。
- ④どこかしらお出掛けする事が多いです。ちょっとコンビニとか行く位でもよく一緒に行きます。
特に妻は暇が嫌いなのでショッピング、観光地、ディズニー等一緒に色々お出かけします。
結婚前に冬に一緒にスノーボードに何回か行ったので、子供も連れて行ける位の年齢になったら
3人で一緒に行きたいと思います

中日本支店工事課 **加納 聖也・音羽(旧姓:宝池)**



- ①2024年8月11日
- ②中、高校の同級生
- ③楽しいです！
- ④2人でランチやカフェ巡りをしています。

NEW BABIES

赤ちゃんが生まれました！

- ①男の子ですか？ 女の子ですか？
- ②生年月日、体重は？
- ③どんな子に育ってほしいですか？



製造本部九州工場の**坂寄さん**に
赤ちゃんが生まれました！

- ①男の子
- ②2024年6月29日、3,192g
- ③優しく、朗らかに育ってほしいです。

辰伍(しんご)くん





岩鍛治編集長の ベトナム日記

第19回

皆さんXin chào(シンチャオ)！

一年も早く、あっという間に新年になってしまいました。昨年を振り返りますと、やはりPETOROLIMEX社へ地下タンクを納入出来たこと、そして同社で地下タンクライニング施行が出来たことでしょうか。ENEOS VN様より紹介され、二年間のアプローチを続け、ようやく受注まで至ったことは、タマダベトナムとして今後につながる実績だと考えています。

そして、日本からは海外事業部からは仕事が切れる事なく案件があり、また製造部からの水槽(FSV)やタンク部品についても安定した発注もあり、当社としては良い状態で製造に励んでおります。

しかし、タマダベトナムは100%の能力を出し切れていない状況です。当社はまだまだ伸びる要素をもった会社だと思っております。

当社は日本向けだけではなく、ベトナム国内にも目を向ける必要があると思っております。PETOROLIMEX社からの安定受注を目指すためにも提案型営業を実践していくとともに、各石油会社へと販路を広げていきたいと考えています。

話は変わりますが、11月13日に玉田社長と一緒に、三谷産業ベトナム様30周年式典に出席をしてきました。同社は、1996年に日本人駐在員1名とベトナム人スタッフ4名からはじまり、そこから事業を拡大していき30周年の現在ではグループで2,400人の社員がいる企業となっています。そこまでに至るには並みならぬ困難があったことでしょう。同社は30年経ついま、ここまでという事なく更なる成長を求める意志が強くある事に驚かされました。我々、タマダベトナムもベトナムでなくてはならない存在になる様、日々を大切にし、努力し続けていきたい思います。



最後に、社員イベントでもある社内バーベキューを玉田社長の来越に合わせて開催しました。この時期ですので気候的には若干肌寒い日(日本に比べると暖かいのですが….)でしたが、社員全員が参加でき楽しい時間になったと思います。ベトナムでの飲み会となると、もちろん乾杯が続くのですが

掛け声が「mot(モッ)、hai(ハイ)、ba(バイ)、zo(ゾー)」そして、グラスのお酒を飲み干します。これが始まると一回で終るわけがなく、何回も繰り返されますので、終わる頃にはかなりの酔っぱらいになってしまいます。

いつも飲み過ぎないようにと思ってはいるのですが、ベトナムの皆さんと飲むお酒はとても楽しいので、ついいつ飲み過ぎ、翌日には反省をしている自分がいます。玉田社長も例外ではなく、当社社員と「モッ、ハイ、バイ、ゾー」とかなり盛り上がっていました。改めて思いましたが、お酒の入った玉田社長は最強ですね！！

さて、今年は皆さんとベトナムでお会いすることになりますね。お待ちしております！

次号では、ベトナムに来られる皆さんに簡単なベトナム情報でもお知らせできればと思っています。

それでは また！！



資 格 試 験 合 格 者

土木施工管理技士補

【一級】川岸 雅卓、杉本 健一

建築施工管理技士補

【一級】川岸 雅卓、神並 孝、齋藤 明彦

管工事施工管理技士補

【一級】川岸 雅卓、牧畠 健太郎

電気工事士

【第二種】小林 翔貴

衛生管理者

【第一種】小林 翔貴

編集後記

皆さま、あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ致します。



昨年は能登半島地震の影響で本社新年会も中止又元旦から震災対応で多くの社員が正月休み返上で緊急対応を行い、ゆっくり新年を迎えるどころか波乱の新年を迎えることになりました。

4月からは、能登絆プロジェクトも始まりタマダとしてモバイル住宅事業という新しい事業を確立していく足がかりにもなったのではと感じます。

私自身、実家が能登なので様子を見に時折帰省していますが、震災当時とさほどかわらない状態で倒壊した家屋はいまだ手つかず、電柱は液状化によりどんどん傾いていっている状態です。復興はまだまだ時間がかかりそうだなど実感しています。

日本国内では岸田総理から石破総理へと交代したと思ったら11月の衆議院総選挙での自民党の大敗、そしてアメリカ大統領選挙ではトランプ大統領の再選と日本だけでなく世界がどのような方向へ向かっていくのかも気になるところです。

※この編集後記は令和6年の年末に書いています。

令和7年はきっとよい新年を皆様迎えられること信じています。本年もTKネットワークでは明るい話題を提供できるよう編集部一同頑張っていきます。原稿依頼の際は、是非ご協力の程よろしくお願ひします。

(TKネットワーク編集部 橋本 一秋)